

平成 30 年度 第 3 回向日市社会教育委員の会議	
日 時	平成 30 年 11 月 14 日 (水) 午後 7 時～9 時
場 所	向日市女性活躍センター あすもあ 2 階 大会議室
出席委員	永井委員長、高畑委員、植田委員、横田委員、安田委員、梅田委員、中本委員、河村委員、築山委員、黒住委員、密谷委員、
欠席委員	太田委員
事 務 局	小賀野教育部長、鹿島生涯学習課長、小畑生涯学習課担当課長
内 容	1 平成 30 年度近畿地区社会教育研究大会 (和歌山大会) 参加報告について 2 人権研修会 (9/5・10/29・11/7) の実施について 3 向日市ふるさと検定について 4 向日市社会教育関係団体育成補助金について 5 その他事項 6 研修 向日市女性活躍センター あすもあ 見学
教育部長	<p style="text-align: center;">〈 開 会 〉</p> ○開会挨拶
委員長	○挨拶
事務局	○議題 1 平成 30 年度近畿地区社会教育研究大会 (和歌山大会) 参加報告について 日時：平成 30 年 9 月 7 日 (金) 午前 10 時 20 分～午後 3 時 40 分 場所：和歌山県民文化会館 主題：「人と人のつながりを築き、誇りを深める社会教育 ～故郷への愛着と誇りを大切にしながら～」 ー参加した感想・意見の交流ー
事務局	○議題 2 人権研修会の実施について 第 1 回 平成 30 年 9 月 5 日 (水) 午後 7 時～ 「防ごう！守ろう！子どものネットトラブル」 第 2 回 平成 30 年 10 月 29 日 (月) 午後 6 時 30 分～ 「はじめてみよう！これからの部落問題学習 ～部落問題をどう語り、伝えるのか～」 第 3 回 平成 30 年 11 月 7 日 (水) 午前 10 時～ 「エンパワメント～心の源の力の支援～」

事務局	事務局 説明
委員	<p>《意見・感想》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ネットトラブルと部落問題の両方に参加した。ネットトラブルは PTA 連絡協議会と共催で実施し、普段の研修会よりも若い参加者が多く、他団体と一緒にすることは、人を呼ぶにはいいことだと思った。わかりやすい研修だったが、社会教育として実施する人権研修会であれば、家庭の教育力の必要性について触れた内容であった方がよかったかと思う。主導権は親にあって、家庭の中でルールを決めることが大事である。 石元先生の研修は2回目で、わかりやすく、江戸時代の前のことを学べて良かった。私はどうなんだろうと常に考えていく生き方、姿勢が大事だと思った。 ・ ネットトラブルと部落問題の両方に参加した。両方とも勉強不足で私自身学ぶことが多かった。ネットトラブルはたくさんの参加者がいてびっくりした。保護者の方にとっては、時宜を得た研修であったと思う。 部落問題も参加してよかった。市民の皆さんに受けていただきたい内容だった。研修を実施するにあたり、問題意識をしっかりと持って、ニーズについて、アンテナをしっかりと張ることが主催者側には必要だと思う。 ・ 部落問題の研修に参加した。自分の知っていることが、頭の中できちんと整理できるようにお話していただいた。 部落問題の研修は、人が集まりにくいと思うが、あきらめることなく、毎年実施してほしい。 座学だけでなく、どこかにでかけるようなこともやっていただきたい。 ・ 人権とはまずおかしいと気付くことが大事。次に学ぶ。自分自身が差別をしない。意識を高めていく。 ・ 以前、知り合いの映画監督に子どもの虐待について、人権研修会を実施してもらった。映画もあり、グループワークもあり、聞くだけの研修でなくよかったと思う。 ・ 講義形式だけではなく、ワークショップ形式が世の中の流れである。先生のおっしゃったことを自分のものにするために、語ることや他の人の意見を聞くことは大事である。ファシリテータを育成していくプログラムを考えていかれたらどうか。 ・ 石元先生は3年前に学校に来ていただいた。今の若い先生たちは、同和問題か人権問題のどちらかを選んで、単位をとることになっている。授業参観で人権学習をし、懇談会でその内容について話をさせていただくことになっている。 ・ エンパワメントの研修も行ってみたかった。
事務局	<p>○議題3 向日市ふるさと検定について</p> <p>事務局 説明</p> <p>ふるさと検定問題を解く</p>

○議題4 社会教育関係補助金交付要領について

事務局 説明

○議題5 その他事項

・平成30年度京都府社会教育研究大会について

○研修 向日市女性活躍センター あすもあ 見学

—担当課の説明—

〈 閉 会 〉